令和６年度若者・子育て世代向け

アンケート結果

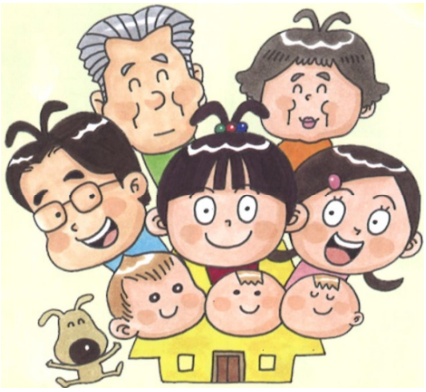
■回答者　　南砺市内在住の若者・子育て世代１７１名

■実施期間　令和６年１１月１日～１１月３０日（３０日間）

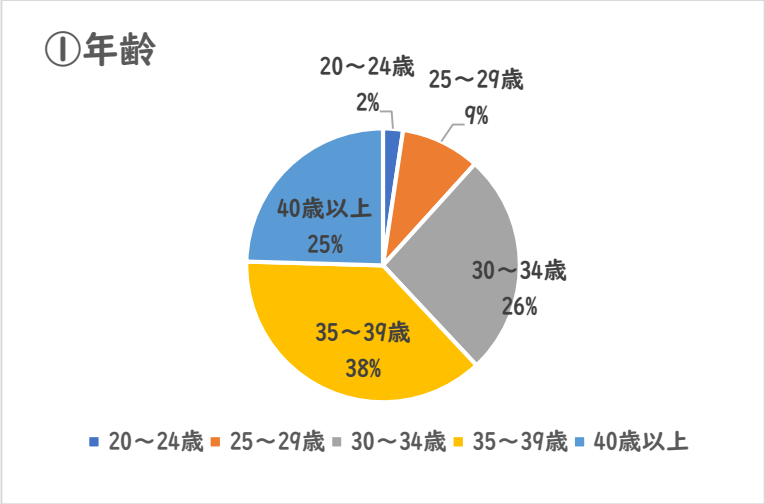
■回答方法　富山県電子申請サービス（インターネット）による回答

■周知方法　市 HP に掲載、お知らせ一斉配信にて市内全保育園保護者に案内

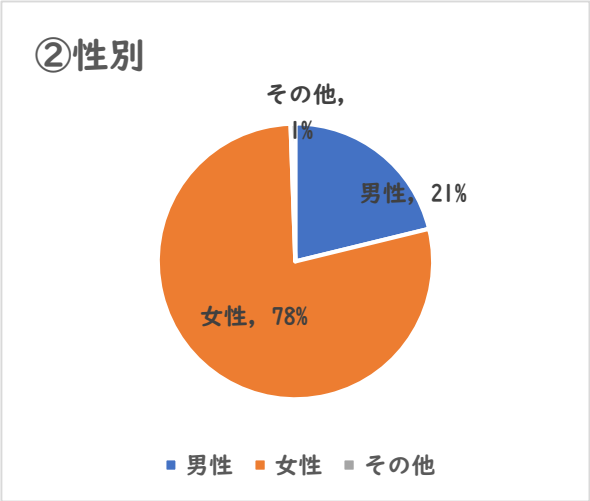
南砺で暮らしません課　ジェンダーギャップ対策・婚活若者係



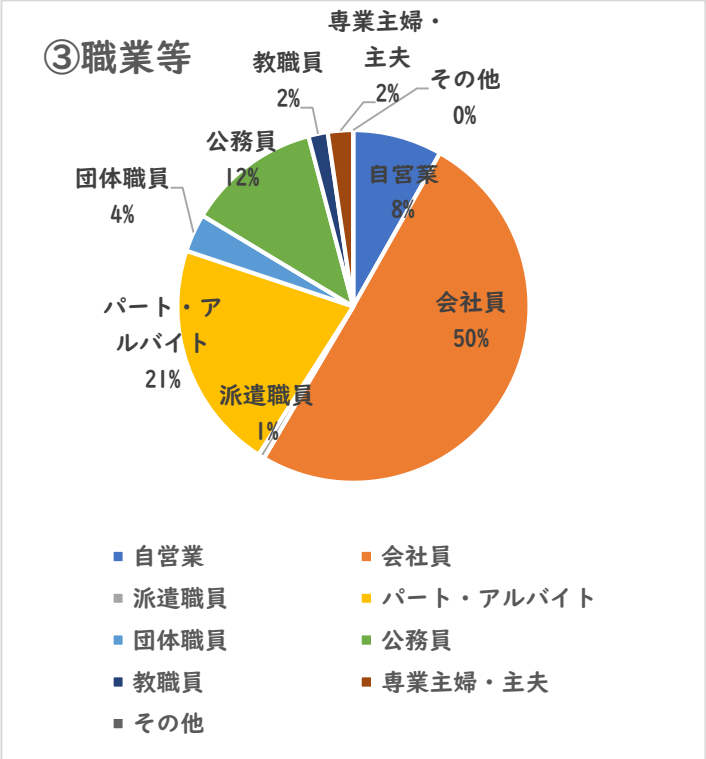
1. 回答者属性



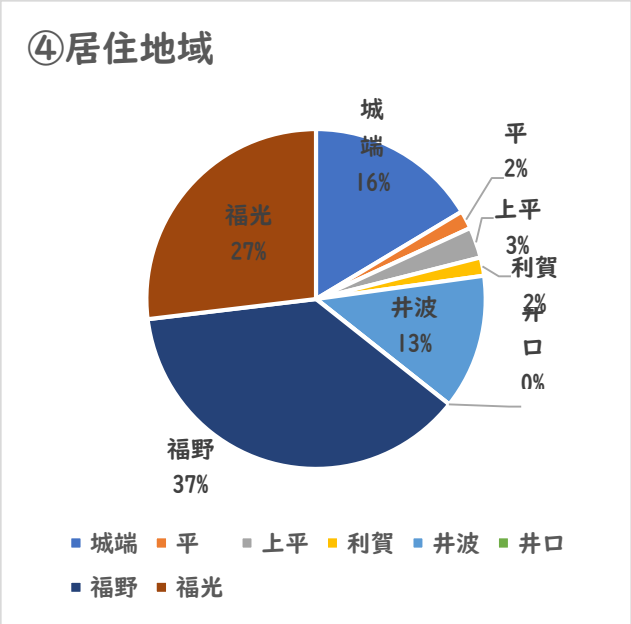
年齢	人	%
20～24 歳	4	2%
25～29 歳	16	9%
30～34 歳	45	26%
35～39 歳	64	37%
40 歳以上	42	25%
計	171	100%



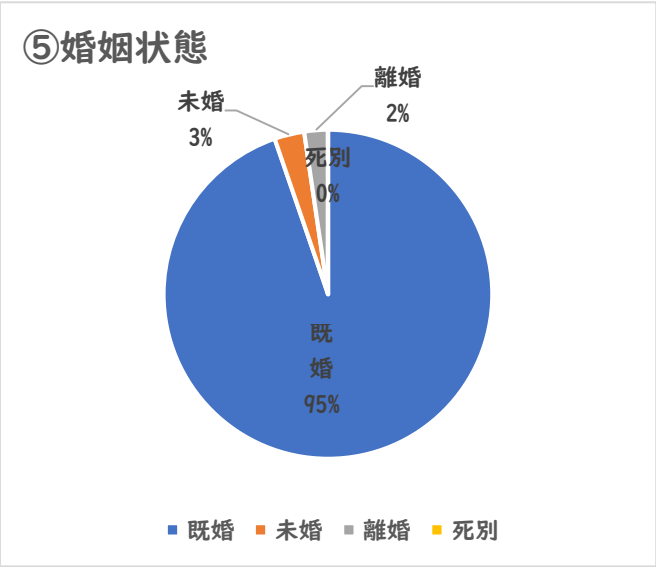
性別	人	%
男性	37	21%
女性	133	78%
その他	1	1%
計	171	100%



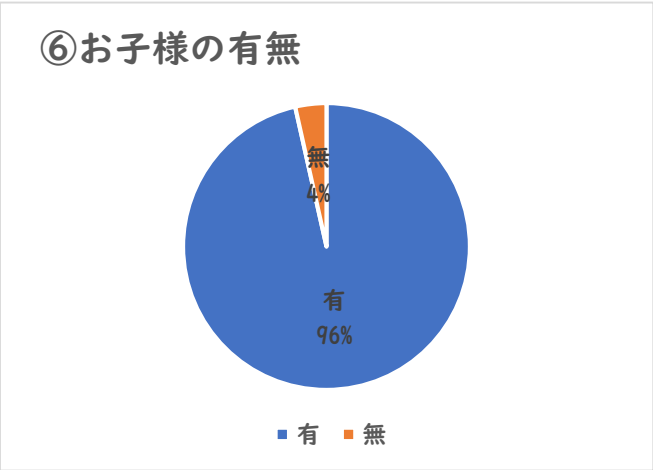
職業等	人	%
自営業	14	8%
会社員	86	50%
派遣職員	1	1%
パート・アルバイト	36	21%
団体職員	6	4%
公務員	21	12%
教職員	3	2%
専業主婦・主夫	4	2%
その他	0	0%
計	171	100%



居住地域	人	%
城端	28	16%
平	3	2%
上平	5	3%
利賀	3	2%
井波	22	13%
井口	0	0%
福野	64	37%
福光	46	27%
計	171	100%



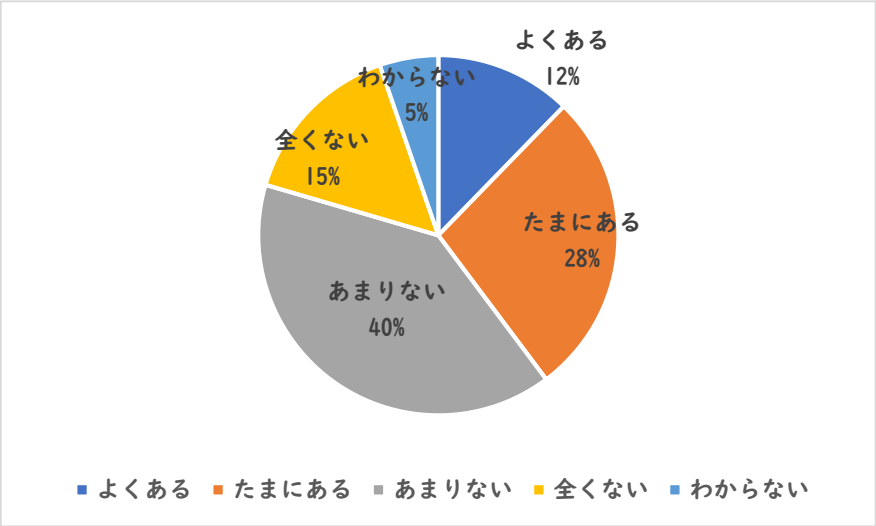
婚姻状態	人	%
既婚	162	95%
未婚	5	3%
離婚	4	2%
死別	0	0%
計	171	100%



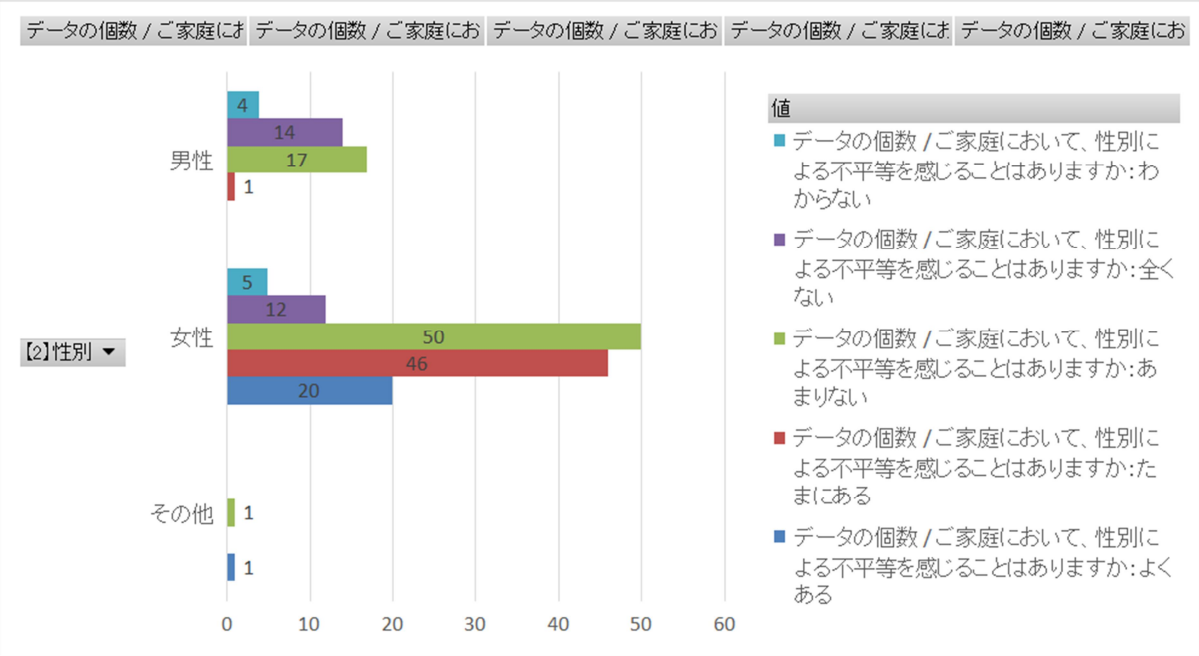
お子様の有無	人	%
有	165	96%
無	6	4%
計	171	100%

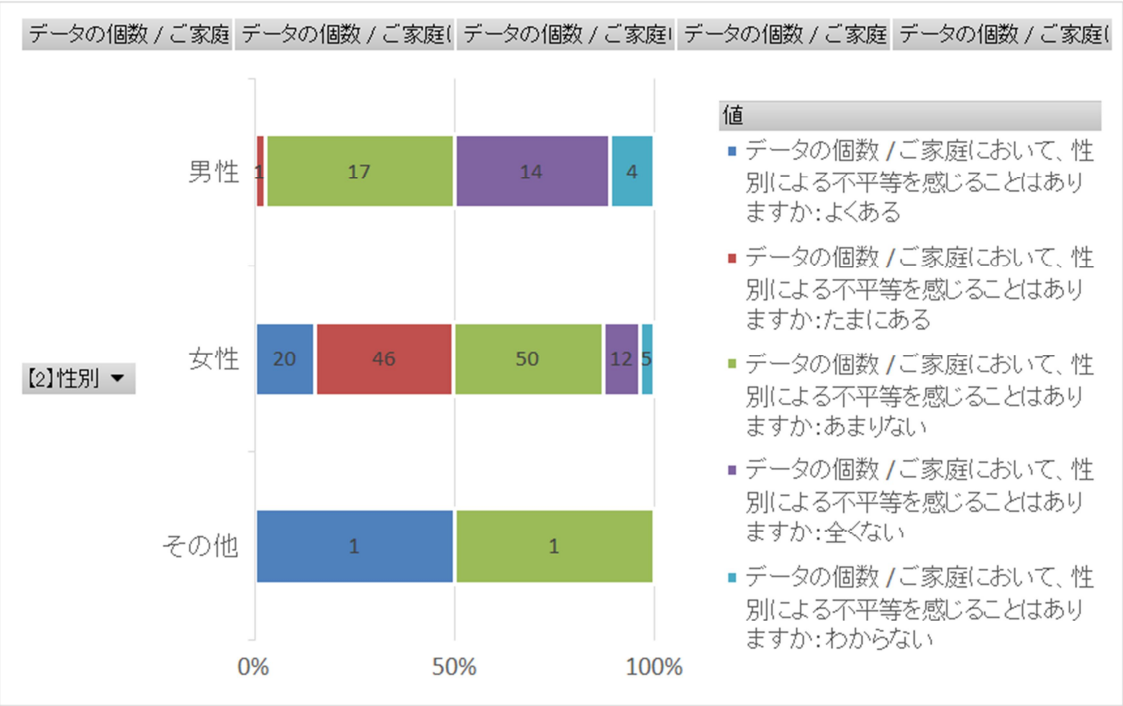
２．家庭

①ご家庭において、性別による不平等を感じることはありますか



	人	%
よくある	21	12%
たまにある	47	28%
あまりない	68	40%
全くない	26	15%
わからない	9	5%
計	171	100%





②それはどんな時ですか。

【家庭育児のこと】

・家事をしている時、何で女ばかり？　と感じる。

・現在育休中ですが、家事育児はほとんど私が行っています。育休中で家にいるから…と、今は割り切っていますが職場復帰後はどうなるかこれから話し合いが必要だと感じています。

・子育てのウエイト

・女性の家事負担が多い

・女性が家事をするのが当たり前、というのはかなり根強いと思う。

・共働きなのに、男の女の家事の量が違いすぎる

・女が子供の世話をして当たり前という雰囲気

・弟は社会人なのに家事をすることを求められていない

・旦那は家事はしてくれる方だが割合は 2:8 程で女性の方が圧倒的に家事をやることが多いし細かいところまで気づいてくれないので手間が増える

・家事は母親がやって当たり前になっていること。

・子どもがいると女性は夜あまり出かけられないが男性は子供のことを気にせず出かけられるところ。

・女だから、母親だから、ご飯、洗濯、掃除、子供の世話、近所付き合い、仕事はやって当たり前。でも、男が少しでもやると凄く褒められる、褒めてほしがるのはなぜ？

・子供の体調不良や保育園行事は女親が休みを取って対応することが多い。
・仕事から帰り、お風呂掃除、洗濯、子どもの寝かしつけと休む間がない。子どもの荷物の支度や服の入れ替えなどの世話も私がしている。旦那に頼んでも断られる。
・子供が具合の悪い時に休むのはいつも母親。
・夫が家事育児をしなくても義父母は夫に何も言わない。義父母に家事育児の負担割合について愚痴ると「〇〇（夫の名前）は、ちゃんと仕事もしとるないけ！」と義父に叱られる。私もフルタイムで仕事をしていて、家事育児しているのに発想がおかしい。夫より稼いでいる事は知らないだろうけど。
・家事、育児は女がする
・共働きだが、家事をするのが当たり前。
・こどもの習い事や学校行事はママの仕事という暗黙の了解がある。仕事も子どもの帰宅時間や行事、体調などに融通が利く仕事を選ばざるを得ない。真夏の14時半、炎天下の中歩いて40分帰ってこなくてはいけない子どもの世話を見る家族が必要。
・家事の負担量
・男が家事をしない、やり方を全く知らないためできない
・子どもの体調不良は、ほぼ母が対応
・女性は家事ができていないと怒られる。男性は家事をすると褒められる
・育児、家事を女性の方が積極的に関わっている時。
・家事は女の仕事。子供が熱を出したら母が休むという風習が未だ根強く残っている
・働いている時間は同じなのに、家事、育児はほとんど自分がやっている
・家事は女の仕事みたいな親世代からの名残
・女性の家事負担が多い
・同居の実母が女が家事と子育てをするものという考え方が根強い。そのため、夫に家事や育児をお願いすると「そんなこと頼むんじゃない。女のあなたがやるのが当たり前」と言われる。育児に関する費用も私が出しており、出産直後の収入の少ない時にお金の工面を頼むと「女が出すものだから、貯金崩しなさい」と言われた。
・基本的に子育ては母だという感覚が夫にはあるようです。休日出勤があっても聞くまで教えてくれません。
・女性ばかり家事をしている。
・夫は仕事からの帰宅時に運動したり買い物をしたりとお一人様時間を楽しんでいるのに対し、パートとして働く私自身は保育園の迎えの時間に追われながら仕事をして生活している。
・やはり子育て、家事といえばママというのが抜けていないと思います。パパは仕事があるので仕方ない部分もあると思いますが、育休を取れる人でも結局家にいてママ任せな人も多いと聞きます。パパが積極的に育児や家事に関わり、1人でも1日自分の子供を世話できる世の中になってくれることを願います。パパはパパになる為の色んな体験をするべ

きだと思います。育児に休みはないし、2人で望んだ子のはずなのでやって当たり前なのでは‥。
・食事を作るのがまず妻、妻ができないときは夫、と順位が決まっている空気があること。
・子どもが体調を崩した時、休んだり病院へ連れて行くのは母親が多い。
・同じようにフルタイムで仕事をしていても、父親の帰りが遅いためご飯用意は母親のことがほとんど
・女性が家事全般をしなくてはならないから
・子どもが体調を崩した時など、母親が休むのが当たり前と思われてる時（急に言われても休めない、と言われても、子どもが「〇日体調崩しますので」なんて事前に言う訳ない）
・子どもが寝た後など、子どもから少し離れられる時、残っている家の事をやってくれれば良いのに、寝てたりタブレット見たりしてる時
・定時は同じ時間なのに、子どものお迎えや夕飯はいつも母親。お迎えがあるから残業もできない。帰宅して着替えて休む間もなく夕飯作るが、父親はほぼ同じくらいに帰っても、ゆっくり着替えて子どもとふざけて休んでる時
・炊事、洗濯、掃除、子供の習い事の送り迎え、PTA、家のことは全て女の仕事。やって当たり前。逆にやらんだら、手抜いとる、楽しとる、子供と遊んどるだけ。常に不平等。家庭に金入れるだけでそんなえらいですか？？給料もらっても足りん程の労働してますけど、と思いながら、不平等に耐えながら毎日過ごしてます。(性別と言うよりもパートナーの性格)
・育児や家事に関しては母親だろ？と言われること。
・家事は母親がするのが基本という感じがするときがある。
・性別役割分業をしているが、不平等とは感じていない。
・家事はやってくれる方だが、料理が不得意な夫は料理だけは絶対に進んでやらない。力仕事はどうしても夫にまかせきりになる。(除雪やタイヤ交換など)
・子どもの通院は、母親の役割になっており、実際、平日に病院に行ったら子ども＋母親（祖母）の組み合わせをよく目にする。保育園、学校の急な呼び出しは、母親の役目になる。
・家事をやるのはなんだかんだで女であること。男はあくまでも、手伝いサブという認識なところ
・家事育児も協力するものと口では言っていても、女性がまずするのが前提というような態度や口ぶり

【仕事のこと・その他】
・育児のために仕事の調整をする割合が高い

・子供の風邪の時に男側は休みずらい
・パパが帰ってくるのが遅い。
・女性だからそこまでしなくても…と色々な場面での選択の際に言われてしまう。家庭はどうするの？男性より学歴が良いと結婚できないなどというロぶり

③どのような変化があれば、暮らしやすい環境になると思いますか

【家庭育児等のこと】
・男も率先して家事育児をする。
・育児は一緒にするものだと思いますので、家事を当番制にするなど「気づいた方が」と曖昧にするのではなく線引きをしたらよいと思います。
・育児は一緒にするものだと思いますので、家事を当番制にするなど「気づいた方が」と曖昧にするのではなく線引きをしたらよいと思います。
・夫婦とも子育てに携わる時間が平等になれば
・もっと男性が当たり前に家事をやること
・平等は無理でもお互いストレスにならないようにできればと思う
・家事分担が当たり前の世の中になれば自然と男性もすると思う。
・周りの手助け
・病児、病後児保育で預ける時間が就業開始時間と重なるため、もっと早くに預けられると良い
・家の長である母親の考え方が変わること。弟が自ら家事をしようと思うこと。
・家事、育児に協力的になってほしい。
・まずおじいちゃん、おばあちゃん世代の考え方を変えないと行けない。私達はこうやって来たからあなた達もしないと行けないと押し付けられても困る。男が台所に立ったら行けないなんていつの時代？って思う。今は大学で一人暮らしをしないといけないから少しでも身の回りの事を覚えて欲しい。
・両親どちらも育児の主体性を持つこと
・旦那の意識の変化
・男が家事育児に参加することは当たり前の風潮を年寄り世代が身につけること
・祖父母が、昔からこうだとか、女が動け、夫は手伝うなという考え方を止めればいいと思います。地域は、家庭がそういう状況なのを理解して、女性の負担にならないように行事を決めればいいと思います。
・共働きだから、みんなで家事育児を協力して行う
・男も家事をする
・家事、育児の分担
・育児、家事を夫も積極的に関わってくれるようになってほしい。
・同じように家事、育児をしてほしい

・共働きなら、家事の得意不得意に関係なく、協力して物事を進める気持ちをもつことができればくらしやすくなる。
・家族の家事への関心を高め、言われてやるスタイルではなく、自分で何ができるか考えるようになるとよいと思う。名もない家事もたくさんあり、初めから家事ができた人ばかりではないと思うので、家族で協力して負担を同じくらいに分担したらよいと思う。
・家事を当番制にする。
・男性だから、女性だから、年寄りだから、若いから、と理由をつけず、やれる人が動くという意識を持つこと
・男性の家事への協力
・父親も子どもの関係で（休んだり、病院連れて行ったり）柔軟に動こうと考える気持ち
・残っている家の事を考えて、手が空いたらやるという気持ち
・家事は誰がしても普通とみんなが思えるようになればいい
・役割を固定的にすることで効率的だと思うが、どちらかに何かあったときに、とても困ると思うので、日ごろからお互い手伝ったりしたらいいと思う。
・お互いが割り切る・・・
・お互いに育った時代が違うから仕方ないと思うが、昔はこうだった…など余計な一言をつけずに、今はこうなんやね。と見守って欲しい。
・お互いに認め合い思いやりをもつ。みんなが得意なことをやり補い合う。みんなが不得意なことは、みんなでがんばる。

【仕事のこと】
・専業主婦かパート。
・有給が取りやすい
・夫も仕事を休める雰囲気をもって子育てを一緒にしてほしい
・収入の格差が減ること
・子供が風邪を引いて仕事を休むことができる環境がほしい
・仕事時間の短縮
・南砺市に転職可能な仕事が欲しい。またはずっとリモートワーク。
・もっと子供との時間を取れるように、仕事が早く終わるか、長く育休をとれるようにしてほしい

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか。
【家庭育児等のこと】
・カナダでホームステイした時に、父親の家事と育児をする時間が結構あり、日本との違いに感動した。日本は家庭内男尊女卑が未だに大きく、女性の負荷が多すぎて少子化なるのは当然だ。日本以外の国の生活状況をもっと知って、この状況が間違っていることにまず気づ

くことが重要。女性が家事をするというアンコンシャスバイアスをまず変えないと日本の発展はない。
・単世帯でもどちらかの実家の近くに住む
・人員確保
・母親は変わりにくいため若い弟が意識が変われば良いと思う。そのためには独身時代から家事をすることの大切さを理解してほしい。
・夫の協力が必要。
・外からなら情報発信がないと耳に入らないと思う。実際にされている人の言葉がないと気づかないと思う。
・職場の理解、世の中の風潮が変わること
・周囲の方の意見や各家庭のお父さんがしていることを知らせる
・それぞれの家庭が、家族が理解をしあわないと無理だと思います。古い考え方、おしつけを止めればいいと思いますが、無理だと思います。
・お互いの理解
・諦めずに男に家事を教える
・祖父母が孫のことを責任を持って世話すること
・おもいやり、気づき
・女の人が家事、育児をするという風潮、夫の意志の変化
・お互いを思いやる心。当たり前に進んでいる日常を当たり前だと思わないきもち。自分の家庭以外の話を聞く機会、環境があればよい。
・昔からの女性への固定概念がまだまだ残っているので、その概念を払拭すること。
・何度も話し合ったが、理解して貰えないので難しい。夫は家事育児とも苦手では無いので、実母を無視して家事育児してくれている。なのでこれでよい。
・パパが講座などで産前から助産師さんや保育士さんから色々、産前産後の女の人の身体の変化や育児の事を学んで知ってもらう所からだと思います。産前の身体の不調、メンタル面、産後の身体の不調、メンタル面、家事育児の事など、パパが準備不足のままパパになると理解力や協力が乏しくなるのかなと思います。
・パートナーの意識改革
・思いやり。当たり前と考えるのをやめてほしい

【仕事のこと】
・家庭内での話合い。残業ありきの仕事ではなく定時退勤や勤務時間の幅広い融通があると良いと思います。
・夫の帰宅時間が早くなる
・思いやり
・職場や周囲の理解

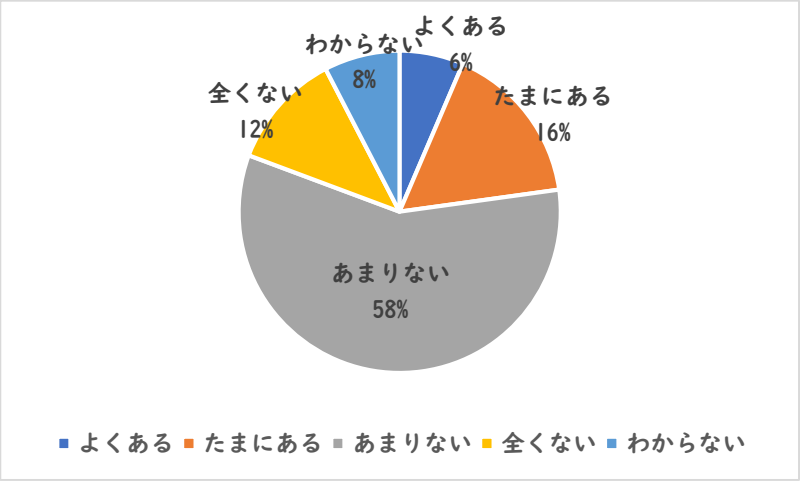
・日本全体の非正規雇用でも収入アップ。
・上司が優しく許可する
・社会(会社)の変化
・扶養の壁がないこと(103 万より上がること)
・会社の理解
・夫の仕事が忙しすぎるのも、家庭に目が向きにくくなる一因だと思っているので、働き方をセーブしてほしいです。
・男性が少しでも早く帰社できる体制
・仕事が絡む事においては、職場の子育て社員に対する理解（急な休みや定時あがりなど）と、子ども絡みに拘らず休んだりや定時であがることが、気兼ねなくできる環境や雰囲気づくり
・育休３年を標準にしてほしい。あるいは、育休を長く取ることを受け入れる会社を多くしてほしい

【地域のこと・その他】
・大昔からの固定概念を変えることができないと意味がないし、まだまだ日本は進んでいないと思う。
・年寄りたちへの意識改革
・世代交代
・この地域だけを見るのではなく、視野を広くして、他の地域の実例・変化を情報提供し、当たり前の感覚を変えること
・それぞれの世代の育った環境を理解して、どうしてそのような意見や考えを持つのかも考えること。どちらかに合わせるのではなく、理解しあい、尊重しあえると良いと思う。

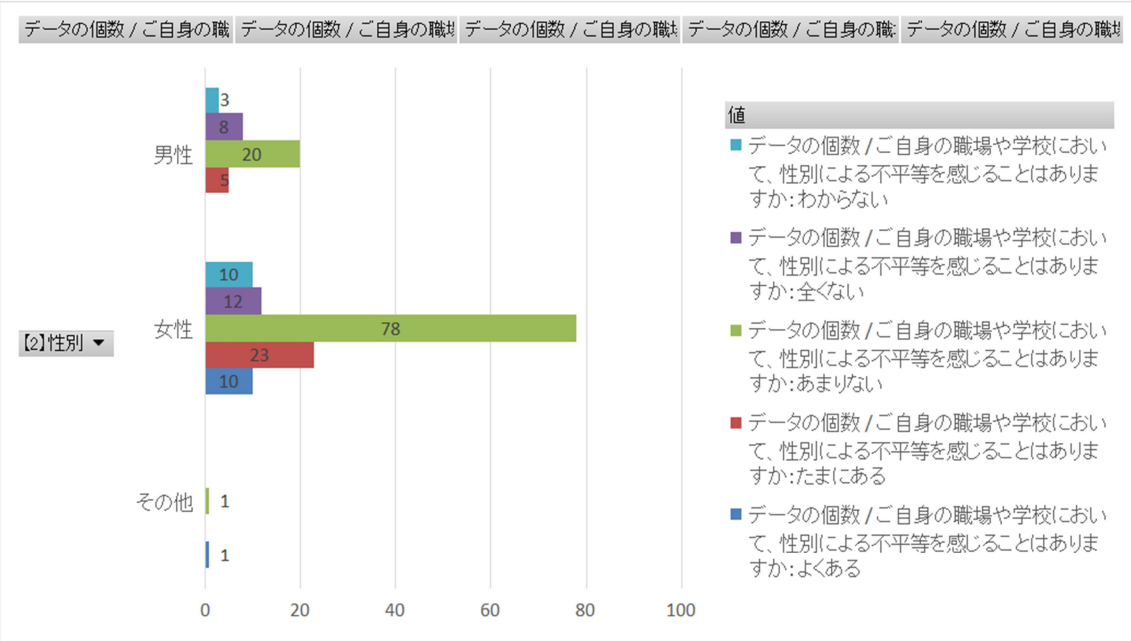
【自治体による支援体制の強化】
・気候も人口も変化しているのに、変わらない制度を変える必要がある。子どもの通学バス。学童の拡充もしくはキッズランドへのバス移動
・保育園が長時間子供をみてくれること
・産業誘致。YKK のような。制服改革。税収=人口を増やすために若い女性向けの政策が必要。遊びに行きたいと思える場所、子育てしやすい市だとアピール。

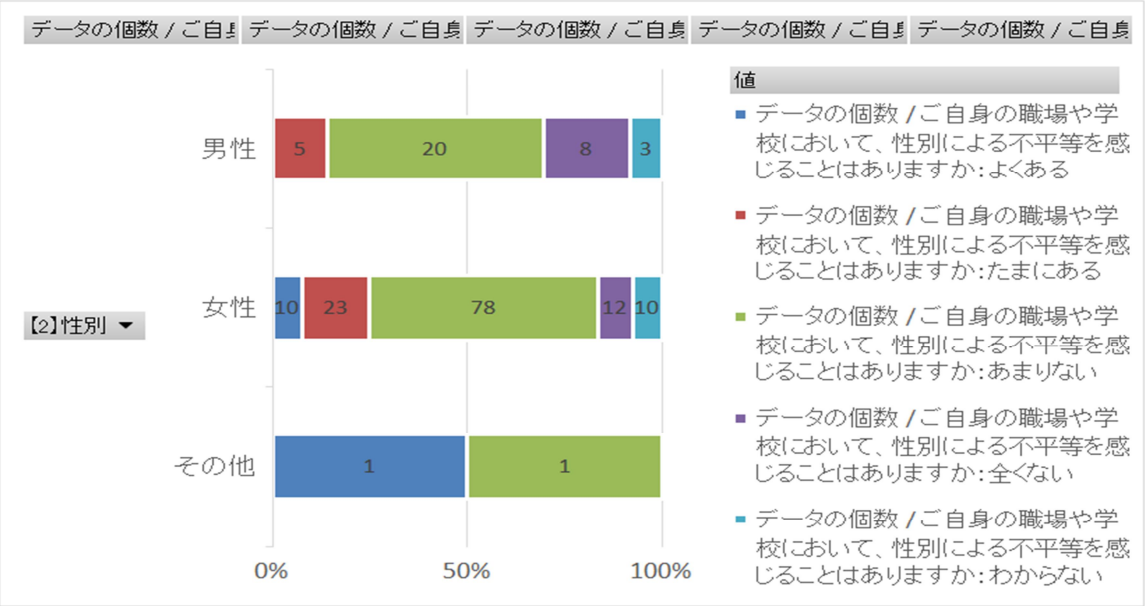
３．職場・学校

①ご自身の職場や学校において、性別による不平等を感じることはありますか。



	人	%
よくある	11	6%
たまにある	28	16%
あまりない	99	58%
全くない	20	12%
わからない	13	8%
計	171	100%





②それはどんな時ですか。

【職務内容】

・上司に提案をしたが受け入れられず、1週間後男の同僚が同じ内容の提案を同じ上司にしたら、即受理された。給料も不平等。仕事のできない男性とできる女性の給料を比較しても男性の給料がいい。実力では女性の方が上でも、給料は男性の方が上、納得いかない。

・上司の考えが古く、女性は管理職にはなれない

・男性ならこれが得意、女性ならこれが得意と言う決めつけが時々感じられる。

・役職や給与面で差がある。とはいえ福祉職なので、そもそも一般企業との乖離の方が激しい。

・やはり男の人が上の立場の様な雰囲気があったりする気がします。
女の人が男の人に言えない、上の人に言えない、従うといった事もあるのではないかと思います。

・育児出産の間、休んでいると昇給しないところ。

・結婚、出産などにより、キャリアアップや賃金アップがなかなか出来ないこと。

【職場環境】

・男性というだけで給与が高い

・私の職場の事例としては、女性の立場向上のため管理職への登用が積極的に行われている状況。周りの男性社員と比較しても、優れている点があまり見えない方が昇進するケースが散見されている。

・給料の格差

・トイレ掃除は女性のみがしている

・女はお茶くみ、掃除…男だってできるでしょ？
・女だからとお茶出しや雑用、掃除、男性のお世話をしなければいけない。
令和なのにほんとに気持ちが悪い。
・男性も育休をとれるように。子供が風邪を引いても男性が休めるように
・女性だけ勤務時間外に早く出社して掃除を行う
・気難しい人には、女性に対応させようとされます。
・女性は査定が低い。育児があるため急な残業や休日出勤ができない。
・管理職の人が男の人が多い
・学校が早く終わったら母が仕事を早く終わらせるしかない
・女性だけしかない掃除係がある。
・セクハラ、パワハラ、役職男性、男性の育休の少なさ、内容

【職場や周りの人の価値観・対応】
・男女の比率に差がある過ぎるので、気を使う人がいる。

③どのような変化があれば、過ごしやすい（働きやすい）環境になると思いますか
【職場環境】
・まず給料が平等。男性も家事育児をすれば、女性も働きやすい。
・変わらない
・仕事の成果や取り組み、人柄等による昇進/降格は男女フラットに明確なルールがあるべきだと思います。
・給料格差の是正
・自営で家族経営だから難しいと思う。
・男性だから女性だからというのをなくす。
・能力や貢献度に応じた給料
・育児、家事を女性だけに頼っていない人ならば、子供がいるためのお休み、急な都合で休まなければいけないこと、早退しなければいけないことを理解してもらえると思います。
・時間内の仕事量と質で査定するシステムになると仕事のモチベーションアップにもつながる。
・当たり前のことを当たり前だと思わない。互いの価値観を認め合う。
・政治家が変わるしかないのでは。
・男女平等で言いたい事は言い合える仲になれば働きやすいし不満も少しは軽減するのではないかと思います。話し合える仕事仲間になれば上下関係も和解するのではないかと思います。
・女性職員も普段から力仕事もできるよう、筋トレなどの体作りを職場で義務づける。
・育児、出産で休んでいる間も、公務員のように昇給する会社が増えてほしい

・子育て世代に寄り添う環境
・意識の改革、思いやり

【自治体による支援体制の強化】
・学童がほしい

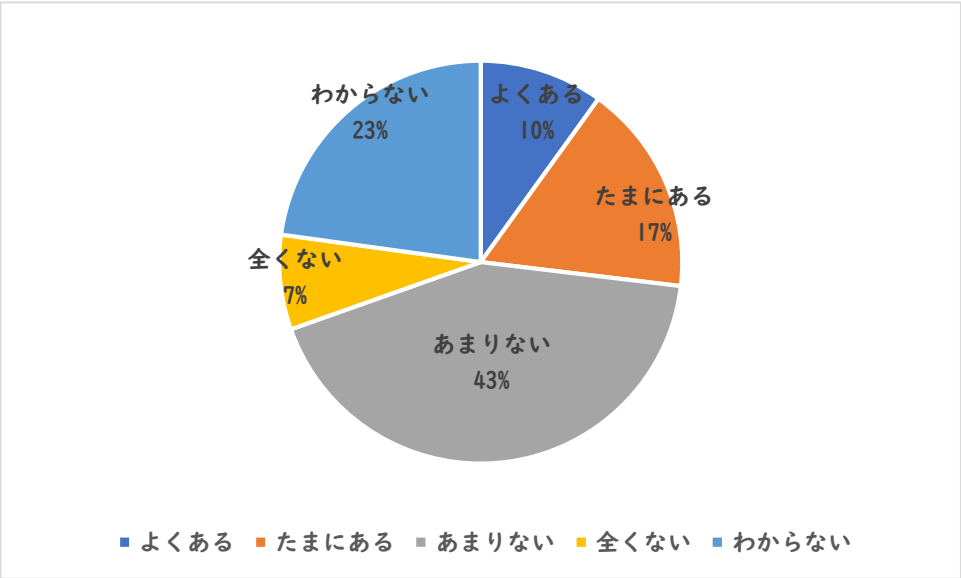
④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか
【職場環境】
・性別で判断しないこと。
・トップから変わらないと無理。
・当番制などルールからかえる。
・上層部の世代交代。
・自分の意見が絶対だと思わない気持ちを全員がもつ。
・男の人や上の立場の人が寄り添い、話しやすい雰囲気を作る事、上の人が絶対という考えではなく、周りの皆さんの意見も聞き入れること。怒っている、イライラしている雰囲気を出さない事。
・男女平等か定期的にチェック（ストレスチェックのように年１回義務づけ）
・会社が出産育児に対して寛容になること
・リモートワークの推進
・ワークライフバランスの取りやすい環境
・産休育休をとっても賃金や退職金等に影響しない制度
・意識改革

【その他】
・他国の仕事と生活の状況を知って、日本特有(家庭内男尊女卑)のアイコンシャスをまず変える。
・家庭環境、家族みんなが理解をしなければいけないと思います。無理だと思います。
・選挙にいく。

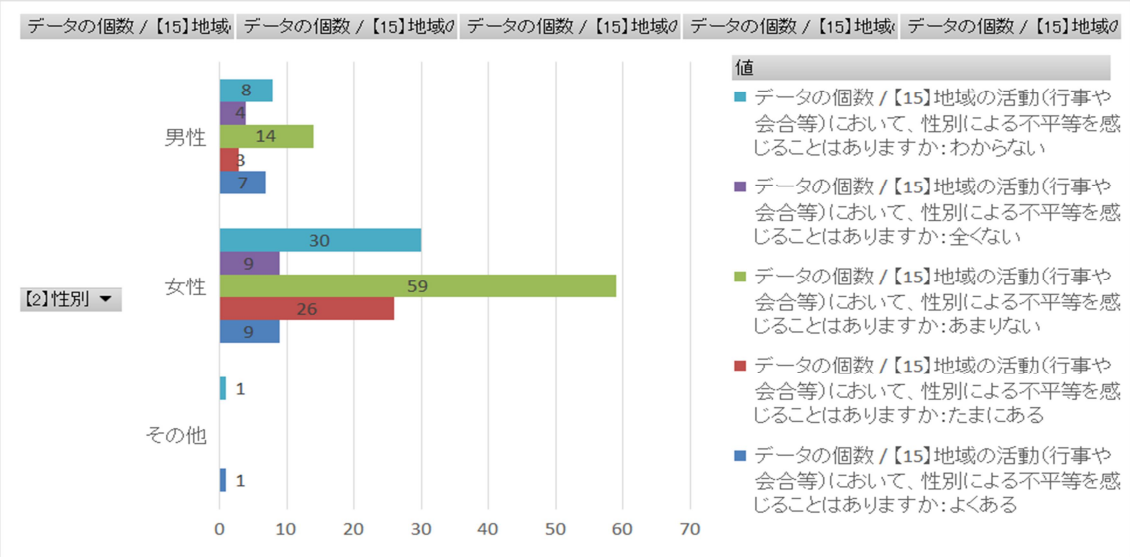
【自治体による発信】
・財源確保
・市が必要性を感じてほしい

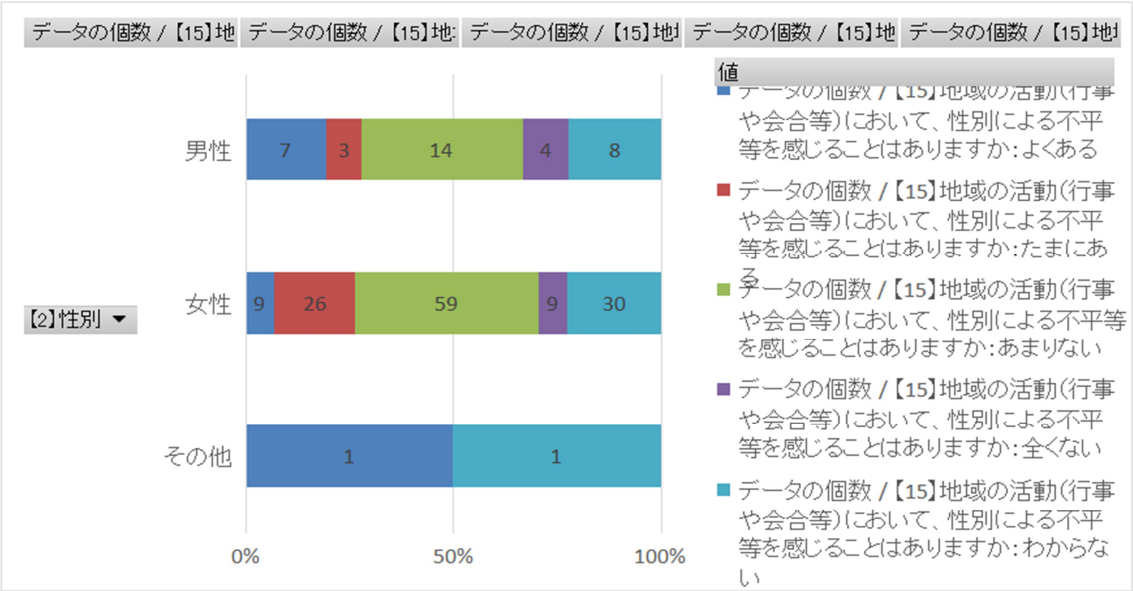
４．地域

①地域の活動（行事や会合等）において、性別による不平等を感じることはありますか。



	人	%
よくある	17	10%
たまにある	29	17%
あまりない	73	43%
全くない	13	7%
わからない	39	23%
計	171	100%





②それはどんな時ですか。

【性別による役割分担】

・獅子舞など、男性のみ参加の行事があり負担が大きい。消防団にあたるのではないかとの不安もあり損をしていると感じる。

・地域別バザーの食事コーナーは女性が担当すると決まっているところ

・消防団員が、男性ばかり

・私の町内の活動（祭りや納涼祭など）は全て壮年会や青年会といった男性陣のみで意思決定、当日までの段取りを行っている。女性陣は当日のサポートのみ。

・参り事での順番

・掃除や地域の祭りの食事の準備は女性がするものと思っている年配の方々がとても多い

・男性が主となる地域の行事には飲み会があるが、女性は無い

・町内行事で母親ばかり手伝わされること

・意見を言うと女のくせに、若いもんは黙って賛成しておけばいいとか言われて集まって話し合いする意味なし。だから行事に参加しなくなる。

・女性だからといって自治会の役員をやらない。そのため他の世帯に負担がかかってくる。また、春のえざらいに関しても、特定の人ばかり重労働になっている。そもそも、日本的な教育がなされなくなり、利他の精神が失われている。市役所幹部職員ですら自分勝手な人が目立つ。

・獅子舞で奥さんが、朝早く来ておにぎりや味噌汁等を作って配膳して片付けする

・集まりごとに準備、後始末、子育て中には、難しいです。

・女性は〇〇をする系の事が多い

・消防団

・町内のことは男性が主でとても助かっているが、女性の意見は聞かないこと。福野出身で

はないので馴染みにくい。よそ者感が抜けない
・地区の未就学児の会があるが、役割を担うのは母親に決まっている。夫の実家のあるこの地域に住むことになったが、子どもが少なく、縦にも横にも繋がりがない中で、未就学児の会の役になると、各家に配布物をするにも家がわからなかったり、行事をしても参加率が低かったり、苦労が多い。一方で、夫は地区行事に積極的に参加しておらず、母親ばかりが大変な目に遭うように感じている。
・男性と女性の役割が決まっている時
・夜高の準備で2ヶ月夜不在。育児に追われる中子供が風邪を引いても行かなければいけない。制作後夜遅くまで飲み会が毎日続き家庭としては迷惑。
・地区の班長や会長など男の人ばかり。
獅子舞があった時、慰労会は班長など男の人ばかりだったが、衣装の片付けは女性部で女の人ばかりであった。
・役員は男性ばかり。
・男性ばかりの会合に出にくい。また、目が気になる
・基本的に世帯主が行事、会合に出席しているため、私としては楽させてもらってます。
夫が不満を持たないようにしてあげないといけないと思ってます。
・以前より状況はよくなっているが、メインは男性、女性は裏方で祭り自体に参加しずらく、例えば我が子が獅子舞で獅子取りになっても子供の活躍を見られない。
・だいたい会合に出るのは男の人。女性の意見が取り入れにくいのでは？と感じる
・母親参加が多い
・女性だからと料理作る地域活動ある。女性だから料理得意など思わないで欲しい。
逆に男性だから力仕事得意など思わないで欲しい。
・消防団が不平等。男性しか見たことがなく、自分の地区では男性のみ年齢順で担当が回ってくる。男女共働きで家事も男女半々となっている現在、どうしてもボランティアの力が必要になるのであれば、業務の取捨選択やデジタル化により男女どちらでも出来る内容にしていくべきである。出初め式や裸放水などは当然無くすべき。月に何回か夜中に消防車でカンカン鳴らしながら回ることでどれだけの防火効果があるのか、その拘束時間に対して妥当な対価が支払われているのか、ボランティア（善意）の押し付けで中途半端な組織を消防活動に当てるくらいなら消防職員を増やす方がよいのではないか。
・祭などで男のいる家は人足を出さなければ欠席のお金の回収があった
・女性の会（もとの婦人会）があるため、公民館の掃除などは女性でまわしている。
・子ども会の役員は、大半が母親。一度、父親が役員だった時もあったが、訳ありな家庭だと後から知った。小学校のPTAも会長、副会長以外の役員は、女性が多いと感じる。小学校のPTA会長や副会長は、男性がほとんどなので、男性は役職が欲しいのかなと感じる時がある。
・何か決める時はだいたい男性が参加するのが当たり前なところ。家長でない場合、委任状

がいる地域がある。
・男性ばかりの会議、役職男性

③どのような変化があれば、地域が活性化されると思いますか
【意識改革】
・経済活動の活性化
・消防団をなくしてしまう
・もしくは女性も、半数を占めるようにする
・自らの地域を自らが好きになったらいいのにな、と思います。
・男女関係なくするべき
・70 才代の方の感覚を変えて欲しい。
・市役所、学校教育から変えないと無理。何でも地域に投げてタダ働きさせようとしてくる姿勢に疑問を感じる。西欧文化よりも日本の精神文化に戻ること。
・自分たちのことは自分でするという保育園で教えてもらうことを男が身につける
・男の人がやりたい行事なら、女を巻き込まないでほしい。育児、家事をしてないのに。
・町内会長等は順番ではなく他薦で決めるべき。
・女性の視点も取り入れる姿勢があれば嬉しい。まちづくりも興味があるし会議などしているが主婦が参加できる時間でない。
・地区内に自分たちより若い世帯がほぼ無い。若い世帯が無ければ、子どもが増えることは予想されないが、子どもがいなければ PTA の役員や地区の子どもの会の役に必然的に当たることになる。どのような変化があればいいのかはわからないが、子どもがいると 100%の確率で役割に当たるというのは、この地域で子どもを産み育てるデメリットの一つであり、若い人が戻らない要因にもなると思う。
・平日は制作後すぐ帰る。毎日制作する必要性がわからない
・これも、日本の政治家を見れば男性ばかり。今回の衆議院選挙も女性議員が増えたとはいえ少ない。そこから変わらないと変われないのでは。
・たくさんの女性が活躍してほしい
・地域づくり協議会の活動が、お年寄り向けなものが多くあまり参加できていないので、子連れ向けのものがあると嬉しい。
・女性が活躍出来ない、足かせになっている負担（宴会の準備など）を簡略化していく。
　※例　獅子舞の時の飲み会は、個人宅ではなく集会所でやるなど。
・子育て世代はなかなか参加出来ないのが現状だが、もっと地域に出て行っても良いのではないかと思う。
・地域との繋がりの濃さ
・地域の無駄をなくす。足し算思考から引き算思考に変えよう。やらなくていい作業や行事は無くそう。回覧板等のデジタル化の推進。

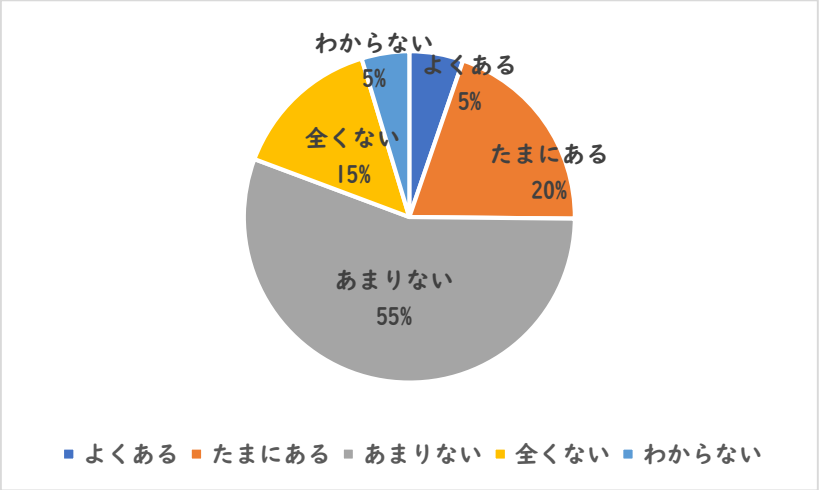
・よい人が増えること。そのためによい職場があること。ITや電子部品関連の企業の誘致（税制、アピール）を強化する。地域の活性化、地域に住む住人同士の繋がり強化という意味では、その必要があるところへの後押しがあるといい。保育園や小学校の保護者同士の繋がりがあることで、休日でも家族同士の交流ができる。役員になる以外に、親同士が連絡先を交換する機会になるような行事（日頃の保育園生活や家庭での不満、不安をグループで話すなど）があればよいと思う。
・子供が増える
・女性団体をなくす。
・男性も女性も何か決める時に、どちらでも参加していいと、広報が必要
・もっと若い人、女性の活躍

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか
・地域内での価値循環の活性化
・無駄な活動をなくす
・消防団の活動への理解
・これまでの歴史にとらわれない、町民全体でのイベント運営
・広く世界を知ることと翻って自らの地域を誇ること。
・年配の方々の意識改革
・年配の人は色んな方の意見を聞こうとする努力して欲しい。
・国の根幹の教育を変えるべき。戦後教育はGHQの日本人骨抜き教育です。そのことに早く気づくべきです。
・団長が改革する
・各、家族の理解だと思います。
・町内会等にもDX化を促しweb3を普及させる
・町単位で子供を預かる場所があると良い。特に夜高祭りの時期のワンオペがきついので町ぐるみで協力しあって育児ができるのが理想と思う。
・子どもが出来ても、子育てのこと以外の負担があまり増えなければいいと思う。
（未就学児の会の会長になると、地区の地域づくり協議会にも入ることになっていた。配布物やイベントへの協力でさえ仕事の合間を縫ってで大変だったが、毎月のように会議に参加するのは負担だった）
・未だ根強い昭和の考え、家庭優先を理解してもらう。
・選挙にいく。
・みんなの意識
・まずは自分から動いてみる。
・地域活動の充実
・引き算思考。それって本当に必要？なぜ必要なのかを考える。

・働く世代の人口が多くなることで税収が増える。移住促進も大事だが、南砺市で生まれ育った人間が出ていくのを止める方法を強化する。富山の各大学、専門学校へは南砺市の自宅から通えるように交通手段を用意する。富山市に下宿すると、富山市でその後も暮らすようになる。南砺市でホワイトで給料がよい、キョーリンのような企業が増えることで、南砺市で住む意義が生まれる。
・金銭面や設備面、サービスなどでより子育てしやすく、子どもを安心して持てる環境作り
・市から、各地域に通達する
・楽しくする

５．平等感

①ご自身の性別に関して、損をしたと感じることはありますか



	人	%
よくある	9	5%
たまにある	34	20%
あまりない	95	55%
全くない	25	15%
わからない	8	5%
計	171	100%

②それはどんな時ですか

【職場環境の違い】
・妊娠出産のために退職をせざるを得なかった
・後から入ってきた男性職員は男性だからとの理由で私より給料の待遇がよかった
・お給料の差や、昇格できるかどうか。

・子供産むと女はフルで働くのが難しくなる。周りの協力が必要になる。
・同じ仕事をしても男の方が給料がいい。どうして女は結婚したら辞めるから上に行けないのか？女は子育てしてろって事？それならもっといい給料もらってこれば文句は言わない。
・意見を聞いて貰えない
・妊娠、出産、子育てで仕事を休む機会が多くキャリアが築けない
・家事を任せられる。育児全般を任せられる。職場でセクハラを受ける。
・子育てをしていると、フルタイム勤務(会社員)が難しく感じる。ただ自分も今しか見ることのできない貴重な子どもの成長を見逃したくないので、パート勤めを選んでいるのが現状。
・女性ならではのネチネチした人間関係。
・家事と育児、仕事のうまく両立していかなければ生活がまわらないとき
・出産するとキャリアは止まる。やりたい仕事は出来ない。その割に無償労働=地域活動、学校活動は増える。
・長く休んで育児をしてあげたいと思う反面、長く休むと給料が減る。男は妻に任せて何のペナルティもなく働いている。子育てが悪いように会社に思われている。子育て罰とはこのこと。子育てに専念したい人に専念できる環境がない。

【性別による役割分担】
・家事の時間が多いということは、自由時間が少ない。圧倒的に女性の自由時間が短い。女性は家庭内で無償の家政婦、シッター、奴隷扱いになっている。当然給料面も、とても損を感じる。
・家事育児に疲れたとき
・母親が家事育児をして当たり前に思われており、父親が少し手伝っただけでイクメン等ともてはやされている。女性だから言葉遣いが丁寧でなくてはならない、女性としての気配りを求められて実践しているものの、すごくストレス。
・女はネチネチしていてめんどくさい。おばさんは特に勝手に噂を掻き立てて広げるのが大好きなようだ

【身体的違い】
・妊娠出産による体やメンタルへのダメージを感じた時、働けないことで貯金を崩した生活を送っていた時
・女だから、パートだから出来ないと差別的な発言があった
・生理、妊娠、出産がある。経験がない人は大変さや痛さがわからないので
・生理痛が辛いとき、つわりが辛かったとき。年配の男性、女性が、なめた態度で接してくるとき
・産前産後の仕事のブランク

【周りの人の意識・風習】

・地域の役員をやってくれないので、すぐにまわってくる。

・大事なのは平等ではなく公平ではないでしょうか。そもそも体の作りも違う男女が平等にしたところで、お互い苦しくなると思う。男性に子供産めますか？そもそも男女で括ることも…日本ではまだ難しい。

・だやくて家事をしたくない時、家事は女の仕事という時代ではないはずなのにと思う時、休日に夫が一日中ゴロゴロして食事の準備もせず子どもの相手もせず自分のためだけに時間を使っていると感じる時

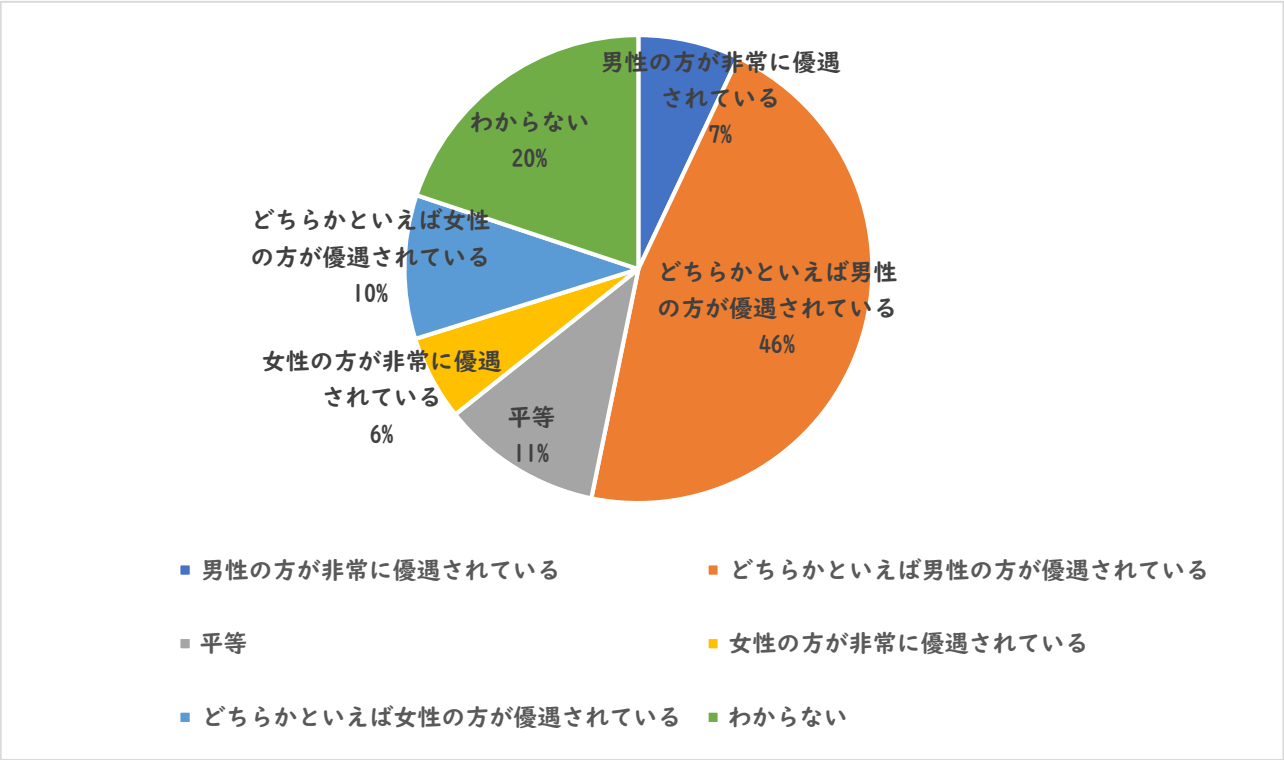
・家庭のことをほとんどしなければいけない

・女だから家を継げなかった。それにより、姓を変えないといけなかった。うまれた子供にも、夫側の姓を名乗らせないといけなかったこと実家の財産を継承を遠慮しなければいけない雰囲気があること。

・車の購入の時。自分（女）1人で行くと、割り引いてくれなかったのに、旦那が付いて来たときは、割引に応じてくれた。車の駐車違反を注意しに行った時も、自分1人だと応じてくれなかったのに、旦那が注意したら、相手は車を移動した。

・男性議員ばかり。校長は男性

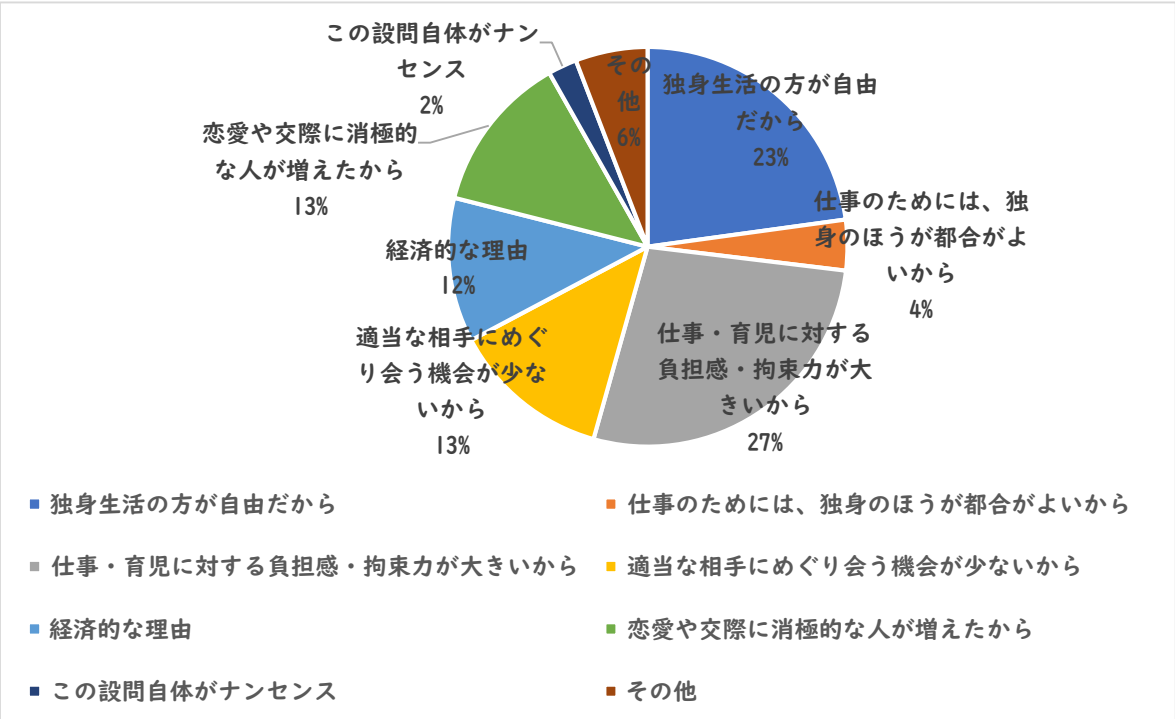
③男女の地位の平等感について、どのように考えますか



	人	%
男性の方が非常に優遇されている	12	7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	79	46%
平等	19	11%
女性の方が非常に優遇されている	10	6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	10%
わからない	34	20%
計	171	100%

６．その他

①未婚化・晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか



	人	%
独身生活の方が自由だから	39	23%
仕事のためには、独身のほうが都合がよいから	7	4%
仕事・育児に対する負担感・拘束力が大きいから	47	27%
適当な相手にめぐり会う機会が少ないから	22	13%
経済的な理由	20	12%
恋愛や交際に消極的な人が増えたから	22	13%
この設問自体がナンセンス	4	2%
その他	10	6%
計	171	100%

その他回答（理由）

・出会いがない、結婚したい人が結婚できないのは悲しい

・全て

・自分の育った環境、家庭、夫婦関係を見ていたら、誰でも未婚になると思います。

・コロナ前に結婚出産している私が、今結婚していない人たちの結婚していない理由を書こうとすると、想像で書くことになり正確な回答にならないと思う。この質問は対象者を絞って回答を求めるべきではないかと思う。

・経済的理由ももちろんあるが、そう言った事をしている時間的余裕がなく、その結果心の余裕もないため。

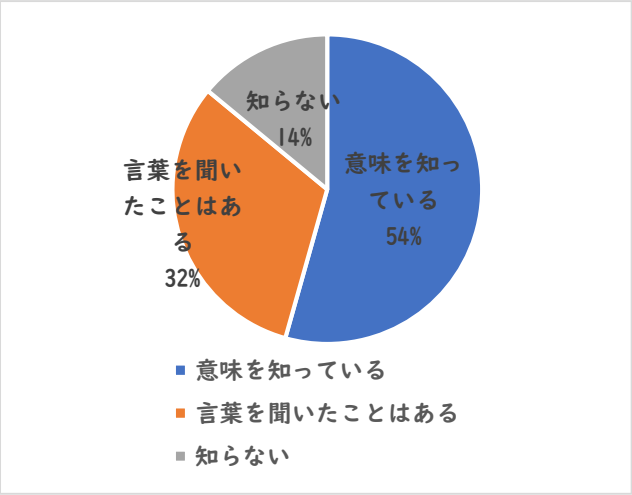
・結婚する事が当たり前と隣近所で無理やり結婚させられるような時代ではないから。

・南砺市は田舎だから、どちらかの親と結婚したら同居などということもあり、嫁姑問題もある

・独身で自由が良く、嫁と子供を養うという事が負担で経済的にも不安がある。コロナ禍だったこともあり、引きこもりがちで出会いがない、出会いに行く気力、積極性がない。昔ほどではないが結婚にうるさくなくなった。

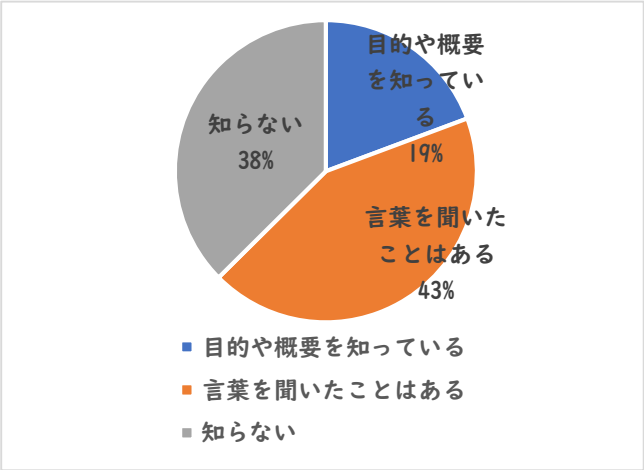
・恋愛で傷つくのが嫌。お金無い。富山にいる魅力ない。

②「ジェンダー平等」という言葉をご存じですか



	人	%
意味を知っている	93	54%
言葉を聞いたことはある	54	32%
知らない	24	14%
計	171	100%

③「女性差別撤廃条約」を知っていますか



	人	%
目的や概要を知っている	33	19%
言葉を聞いたことはある	74	43%
知らない	64	38%
計	171	100%

④その他、市の施策について思われることをご自由に記載ください

・応援したいし、意見を述べたい。政治家は大半が昭和世代の男性なので、女性が家事育児することの何が問題なのかさえ気付くことはほぼない。男性はラクに過ごしたいから、問題視しない。女性が立ち上がって、時代を変える必要がある。このままでは日本経済の発展はない。

・南砺市の施策は過去の合併前の自治体から受け継いだ固定資産の管理を含め総花的になってしまっており、人口４万人半ばの小規模な自治体の規模感に合わない。もっと思い切ったダウンサイジングが必要である。また、このような小さな町に他の地域からの人と投資を呼び込むためには、あっと驚くウルトラＣ的な施策が必要と考える。例えば圧倒的なデジタル化や圧倒的な国際化など。光るところを思い切り伸ばして、それ以外の部分を段階的に諦めるといったメリハリのある行政が南砺市には欠けているのではないか。それを実現する

ためには行政官の人選や育成がかなり課題になっていると考える。申し訳ないが南砺市の行政官はレベルが低いと言わざるを得ない。民間で働いていたら直ぐに馘首になるようなとんでもない人間が跋扈している。トップは現状は極めて問題が多い状況であると認識するべきだ。
・ジェンダー平等ということは理解がする。しかし、男性と女性は生物としての違いが存在することは当然であり、ジェンダー平等を声高に主張する方々はこういったことを理解しているように感じない。都合の良いよく、女性、女性と主張するが、もう少し落ち着いていただきたい。また、行政として取り組むべきことであると思うが、南砺市はSDGS、ジェンダーギャップなど流行に乗っかっているだけで地に足がついた取り組みとは程遠い。もっと他にやるべき政策があることを考えるべき。
・子どもと平日は子育て支援センターをよく利用させてもらっています。しかし来ているのはほとんどママ達で、旦那にも行ってみないかと誘ってみたところ父親は行きにくいと言っていました。保護者同士の交流ができ私はすごく嬉しいのですが、感じ方は男女差で違うようです。石川県には木育を目的とした施設が2箇所あるそうです。南砺市にもそのような木育の遊具施設があるとパパ達も子ども行きやすいのではないかと思いました。
・児童館は誰でも利用できるが、校区内に無いので、子どもだけでの利用が難しい。放課後に子どもだけで使えるように、バスなど、交通面を整えて欲しい。
・子供に手厚くしてもらって子育てしやすいところだと思う。もっと子供を地域全体で育てていることをアピールしても良いとおもいます。
・様々な行事、活動、団体があると思うが、本当に必要か、惰性で行ってないか、メリットがあるのか見直す必要はあると思う昔とは働き方が違う為、上の世代の考え方が古いと言うことを理解して欲しい
・都市部や人口の多い行政区では出来ないことを今後も継続して実施してほしいです。移住促進や子育て支援などよろしくお願いします。
・私の時代は、レディーファーストといった男性が女性をエスコートしていた時代だったが、わからない決め事で男性は平等という言葉で女性をエスコートする気遣いも薄くなり、女性は男性に頼らなくなってきている時代になってきているので、お互いが助け合う気持ちも難しくなっているのではないかと感じています。
・南砺市にずっと居住してる人には補助金がないのに、移住してきた人にだけに補助金があたるのは疑問です。
・引っ越してきたばかりなので、よくわからないが、いい市にしてほしいと思います
・ジェンダーギャップ解消と合わせて若者と子育て世帯の賃金を上げる取り組みに期待します。
・子育て世代への政策を増やしてほしい。
・女だからスカート、セーラー服、ヒールが正装なのか？女校長、婦人警官、女社長などの言葉が消えないのはなぜ？女がトップになると部下の男性はなぜ嫌がる？

・若者や子育て世代の流出を抑制し、新規での流入に向けても検討していると思うのですが現状南砺市での子育て環境に魅力を感じることはほとんどありません。子育て政策、施設ともにです。砺波市や金沢市に居を構えた地元の同級生などもかなり多いです。今一度若者や子育て世代に対する政策を見直して欲しいです。そこに対して十二分な予算も充てて欲しいです。仕方なく南砺市で子育てをするのではなく南砺市でしか出来ない子育てを。
宜しくお願いいたします。
・子供の病院が少ない。高岡まで通っている。
・どうでもよいことに予算を割きすぎ。観光などどうでもよいので、住民のくらしをよくするために要望には、すぐ対応してほしい。
・子育て支援に力を入れていただけると大変助かります。子ども3人目にかかるお金をかなり援助してくれると3人目を考える人も増えるのではないでしょうか。
・災害に強い市にして欲しいです。
・南砺市20周年事業はお金の無駄遣いが多く感じられる。する必要はあったのか？
・何を施策されているのか、何も感じません。生きにくい環境です。
・市にお金が入らない形で、山間部によくわからない施設を作るのをやめて欲しい。
・小学生の真夏の通学、特に帰宅時間に対する政策を考えてほしい。学童には制限があり、いれたくても希望の学童に入れられない子どものが沢山いる。特に暑さへの体調が考慮されていない。2キロ以上が通学バスの対象という規則の拡充を市議会議員に要望したが変わらない。大勢に伝える必要がある、制度があるからと要望に向き合ってくれなかった。その制度を変える立場にある人に有志でお願いしたにも関わらず、学校も行政も人任せ、制度ありきでがっかりした。バスは空きが多く、大人は炎天下の中短時間も歩かないのに子どもへの体調を無視しすぎている。学校で待機、学童の拡充、福光高校跡地の一角の活用、キッズランドへのバス移動など政策を急速に考えてほしい。命に関わる案件だ。
・物価があがりすぎている、せめて税金を減らしてほしい
・天候が悪くても遊べる屋内施設が欲しい。
・いい意味で田舎である南砺市も、悪い意味での田舎も十分残っている。男性が地域の役員をになっている事が多い。これは一生懸命訴えた所でなかなか変わらないと思う。むしろ、女性もあまり前に出たがらない人が多い。女性の中でも足の引っ張り合いもある。
・平地区では、街のような学童クラブがなく、夏休みは午後からしかやっていない曜日もあるようです。来年新一年生になる子供が心配。夏休み中、両親祖父母が仕事の日は、どうすればよいのでしょうか。街の学童クラブまで行かないと行けないのでしょうか？
パートタイマーだからと言って、休むことはできません。今から不安です。
・ジェンダー平等…良いことだと解りますが、高齢者が多いこの南砺市では、理解されるのは難しい。男尊女卑の考えが強い。
・現在子供が2人居て、3人目を妊活中。3人目を考えれる様になったのは、保育園の充実(待機児童が無い等)や子育て世代に手厚い事が大きいと思っています。ですが、子育てをし

ながら働くのは本当に辛い。今は引越しをして旦那の実家の近くに家を建てたので、お義母さんの力を借りる事が出来ますが、離れている時はワンオペ。仕事中に保育園からの電話なんてしょっちゅう!!有給や看護休暇も無くなり、本当に働きにくかったです。もう少し病児保育や病後児保育が利用しやすかったら…と思います。事前予約が必要な為、・月曜日は利用出来ない・9時~17時迄しか預ける事が出来ない。もう少し利用しやすくなれば、次の子を考えやすくなるのかと思います。
・少子化に特化した取り組みがあまり感じない子どもを育てるための環境としては著しく低い。保育園は待機もなく入れるが、小さいうちから預けなければいけない環境、風潮があるのか保育園に預けられている小さい子が多い。小学校以上の給食費免除などの援助がほしい。保育園までは複数子どもがいれば助成などあるが、小学校以上はよりお金がかかってしまう
・消防団を無くす
・小学校の制服を無くす（メリットが少ない、無くても学校生活送れるのに高価で経済的に苦しい家庭にとっては特に不満、夏は運動服での登下校がよいのに無理をして秋から春は制服で行っている）
・保育園の昼食のご飯を持参しているが、砺波給食にしてほしい。令和の時代に毎朝ご飯炊いてくださいというのはどんな権限があってそんなこといえるのか
・福野の小学校高学年の児童館（福野体育館）が小学校から遠い。信号を複数渡る必要がある道を15分ほど歩いていかなければならない。バス出すのは無理なのか。
・小学校の中に来年から児童館みたいなのが出来るようだが、高学年は体育館は変わらない。共働きを推奨しているのだから、児童館の使い勝手は改善するべき。福野小学校の真ん前に宅地ができているが、そこに新しい児童館をつくるべきだった。
・雨の日に子供を遊ばせられる屋内施設が南砺市にはなく、特に石川県は充実しており、是非参考にして南砺市の各町に子供を遊ばせられる屋内施設を作って欲しい。
桜ヶ池の公園のリニューアルにも、ぜひ屋内施設を使ってください。
・上が男ばっかの時点でいかがなものかと思います。女性差別うんぬん問うのはいかがなものかと思います。会議が始まって、お茶出しするのは女、その時点で女を小間使いと思っているのであろうなと思います。犯罪者の9割は男、この割合をみても男の心の狭さを感じますね。
・重要な意思決定を行うポストに、女性が増えることを望みます。
・男女平等よりも、なぜ南砺市から人が出ていくのか考えて欲しい。魅力を感じない南砺市に若い女性が残らない。南砺市民を増やす、会社員を増やす。この二つを実現するためにも地元企業を巻き込んだ施策を考えていってください。
・アンケートでは書けないが、性別について疑問に思ったことは、南砺市に来てから感じる事が多い。閉鎖的な土地柄、人のせいでもあると思う。この土地で自分（母親）が不快だと思ったことを、子ども（女）も味わうと思うと、子どもの幸せを願う親の立場から見たら、

将来子どもには別の地域で住んで生活して欲しいと思う。
・非課税世帯ばかりでなく、そこより少し上の、ギリギリで生活している世帯にも、支援をしてほしい。
・子どもが屋内で遊べる施設が少なすぎて困っています。桜ヶ池に屋外に何か作られるようですが、全天候型の施設で無料で利用できるところが増えてほしいです。
・子育てや介護に伴う過度な肉体的・精神的・経済的負担によって、ケアする方の人権が守られていないように思います。柔軟にケースに応じた個別の対応ができる仕組みや施策があれば良いと思います。
・女性と若者の議員が増えて欲しい